

# 学校経営の方針

## I 佐渡市教育大綱と佐渡市教育振興基本計画

### <基本理念>

明日の佐渡を創る人、世界に羽ばたく人の育成  
～一人一人の自己実現を目指した教育の推進～

### <基本方針>

[学校教育] 佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進

### <基本目標>

- 1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進
- 2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進
- 3 安全・安心な学校づくり

上記を踏まえて、教育目標と本年度の重点目標を設定する。

## II 本年度の取組

### <学校の教育目標>

「学び合い 高め合い とともに伸びる子」

### <本年度の目指す子どもの姿>

「佐渡・八幡を愛し、貢献できる八幡っ子」

### <本年度の重点目標>

「主体的・対話的で深い学びの実現」

## III 目指す学校像

### 1 児童が生き生きと学習し、明日を楽しみにできる学校

学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている。教員が教えることにしっかりと関わり、子どもに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていかねばならない。そのためには教材研究と教材準備が不可欠である。また、「主体的・対話的で深い学び」は、45分間の授業の中で実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で実現されていくものである。特に、学びの深まりは、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、自分の考えを形成したり、創造したりする授業を工夫することである。

今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、研修し、授業改善を進めることで、「児童が生き生きと学習し、明日を楽しみにできる学校」づくりを進める。

### 2 地域とともに歩み、子どもの成長した姿で保護者に信頼される学校

「地域とともに歩み、子どもの成長した姿で保護者に信頼される学校」を実現するためには、学習指導要領で求められる「社会に開かれた教育課程」を実現するこ

とである。地域の課題を学校も理解・共有し、よりよい社会を創ることを取り入れた教育課程、単元を構想していく必要がある。教員が地域の課題を把握し、外部講師や活動の場を確保するためには、学校関係者評価委員会や地域教育コーディネーターとの連携を深めていくことが効果的である。

「社会に開かれた教育課程」による学習を受けた子どもは、家庭や地域で主体的・対話的に学び続ける子どもである。今年度も、地域主催の行事への児童参加を強力に勧める。地域主催の行事で見せる子どもの姿こそが、主体的・対話的に学ぶ子どもである。保護者・地域は、それこそが学校が育てた「子どもの成長した姿」であると見ている。地域主催の行事こそ、学校が保護者・地域に信頼される場となる。

#### IV 本年度の重点目標「主体的・対話的で深い学びの実現」により

下記は、学校評価の中で実現する事項である。以下の実現のために、教育活動、運営活動を構想、実施、評価していくが、その際、本年度の重点目標「主体的・対話的で深い学びの実現」を図りつつ行うことになる。

- 1 学ぶ意欲を高め、確かな学力等を育成する教育と郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進
  - 生活科や総合的な学習の時間等で、佐渡や八幡について意欲的に調べ、まとめる活動の中で地域のよさに気付ける児童が80%以上になる。
  - 国語・算数・理科・社会のワークテストの学年平均点が85点を上回る。
- 2 いじめを見逃さない、不登校を生まないための豊かな心と規範意識の醸成
  - いじめ見逃しを「0」にする。
  - 不登校、不登校傾向の子どもを前年度より増加させない。
- 3 健康でたくましい心身をはぐくむ体力向上と食育の充実
  - 体力テストの50m走、立ち幅跳び、ボール投げの3種目で県平均を上回る子どもの割合が50%以上になる。
  - 各学年部で設定した望ましい食習慣が身につけている子どもの割合が80%になる。